



Nagoya Central Hospital NEWS

2019

『名古屋セントラル病院』ニュース 秋

『睡眠時無呼吸症候群』等の治療実績 が評価されました

この度、日本睡眠学会より「日本睡眠学会専門医療機関（B型）」として認定を受けました。専門医療機関とは、睡眠障害または睡眠呼吸障害の医療を総合的かつ専門的にやっている日本睡眠学会が認定した施設です。

当院では、睡眠時無呼吸症候群等を対象とした睡眠ポリグラフ検査（PSG検査）やその治療に力を入れており、その実績が評価されました。この認定を受け、今後も患者様の治療にお役立ちできるよう邁進してまいります。

睡眠に関する症状でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、当院耳鼻いんこう科までご紹介ください。



◇当院の睡眠ポリグラフ検査（PSG検査）◇

- ・ 1泊2日（夕方入院・翌朝退院）で検査入院いただきます
- ・ 検査入院が可能な曜日は「月」「火」「水」「金」となります
- ・ 経験豊富な医師・技師・看護師が応対いたします



↑部屋の一例：
当院は全室個室のため快適にお過ごしいただけます

名古屋セントラル病院 耳鼻いんこう科
山本 浩志（日本睡眠学会専門医・写真中央）より



睡眠障害に対する外来を開設して10年以上が経過しました。

PSG検査は睡眠環境を整えた個室で行っています。現在までに検査数は2,000件を超え、睡眠時無呼吸症候群や、その他の睡眠障害（特発性過眠症、レム睡眠行動障害、むずむず脚症候群など）の診断治療を行っています。

専門の知識・技術を日々向上させ、より質の高い医療提供ができるように心がけています。

インターネットから簡単に当院の診療予約が 取れるようになります

当院では、地域の医療機関の先生方がより便利に当院の診療予約をとれるように新しいインターネット予約システムを導入します。この予約システムは多数の医療機関にて実績のあるFUJIFILMのC@RNA Connect（カルナコネクト）を採用しています。

同システムを利用して頂ければ予約作業がスムーズとなり、先生方の作業負担の軽減に繋がります。

1 1月下旬以降に運用開始予定です。ぜひ、この機会にご利用ください。

〈予約が取れる診療科〉

呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科

【カルナコネクトに関するお問合せ先】

地域・法人連携室 山根、竹内 TEL：052-452-3196

「糖尿病のつどい」を開催します

糖尿病の啓発を目的とし、糖尿病予防・治療（食事療法、運動療法）について糖尿病患者様・地域の方々向けに講演を行います。

■日時：令和元年11月14日（木）14：00～16：00（受付11：30～）

■会場：名古屋セントラル病院2階 多目的ホール

■テーマ：

「意外と関係が深い！？糖尿病と認知症」【講師】糖尿病・内分泌内科 医長 飯田淳史

「糖尿病を治療して認知症を予防しよう」【講師】認知症看護認定看護師 浅野奈緒

「糖尿病と認知症 運動で認知症も予防しよう」【講師】理学療法士 水谷正人

名古屋セントラル病院 糖尿病・内分泌内科の専門外来のご案内

糖尿病合併症外来 【第1・3月曜午後（飯田医師）】

糖尿病療養指導外来【第1・3月曜午後（担当看護師）】

糖尿病透析予防外来【第1・3月曜午後（飯田医師、担当栄養士、担当看護師）】

フットケア外来 【第2・4月曜午後、第3金曜午後（担当看護師）】



当院では、療養指導外来での持続血糖測定（CGM）の装着をはじめ、様々な専門外来を行っております。外来・入院糖尿病教室、糖尿病教育入院では医師を中心にチーム医療で患者さんを支援しています。療養相談やフットケアが必要な患者さん、外来糖尿病教室の参加や教育入院が必要な患者様がいらっしゃいましたら、当院糖尿病・内分泌内科医師へご相談ください。

糖尿病看護認定看護師のご案内



第98回 病診連携勉強会

非小細胞肺癌の治療について (化学療法を中心に)

かわぐち ゆうこ

呼吸器内科 医長 川口裕子



令和元年8月20日（火）、病診連携システム登録医の先生方をお招きして勉強会を開催いたしました。勉強会の内容をまとめましたので、以下にご紹介いたします。

1. 始めに：部位別のがん罹患率は、肺癌は比較的高い。
2. 肺癌のガイドラインの変遷（冊子版）と抗がん剤の適応：2002年に初めて分子標的薬が使用可能になった。2014年以降は毎年新しい肺癌適応の抗癌剤が出ているが、全て分子標的薬である（分子標的薬はキナーゼ阻害剤、抗体製剤を含む）。肺癌治療のガイドラインは新しい抗癌剤に合わせて改訂を繰り返している。
3. 肺癌を疑ったら：画像検査→確定診断→病期診断→治療という大まかな流れである。最近、病理検査は組織型に加え、ドライバー遺伝子やPD-L1の検索を行う。抗癌剤の選択の判断に利用している。
4. 治療方針の決定：①病期 ②組織型で大まかに決定される。
5. 化学療法の分類
 - a) 細胞障害性抗癌剤：従来の抗癌剤。
 - b) 血管新生阻害剤：血管内皮増殖因子の血管新生作用を抑制。他の薬剤と併用で効果を発揮。
 - c) キナーゼ阻害剤：ドライバー遺伝子陽性の肺癌に対して使用される。現在、临床上、肺がんのドライバー遺伝子はEGFR遺伝子変異、ALK遺伝子転座、ROS-1遺伝子転座、BRAF遺伝子変異が検査可能である。ドライバー遺伝子によって使用できる薬剤が決まっている。
 - d) 免疫チェックポイント阻害剤：Tリンパ球の免疫抑制が解除され抗腫瘍免疫応答が増強する薬剤。肺癌においては単剤あるいは細胞障害性抗癌剤と併用して投与。
6. 免疫チェックポイント阻害剤の副作用：

肺癌のガイドライン(冊子版)の変遷と肺癌への適応

2003年版	→ 2002年 Gefitinib(イレッサ®)
2005年版	Amrubicin(カルセド®)
(2011年以降、毎年Web上で公開)	→ 2007年 Erlotinib(タセルバ®)
	→ 2008年 Irinotecan(カンプト®・トポテシン®)
	→ 2009年 Pemetrexed(アリムタ®)
2014年版	Bevacizumab(アバスタ®)
	→ 2010年 アルブタキス 配合Pacitaxel(アブラキサン®)
	→ 2012年 Orlitinib(ゾーコリ®)
	→ 2014年 Afatinib(ジオトリファ®)
	Alectinib(アレセナ®)
2016年版	→ 2015年 Nivolumab(オプジーボ®)
2017年：IV期非小細胞肺癌の薬物療法	→ 2016年 Osimertinib(タグリゾ®)
2018年版	Ceritinib(ジカディア®)
	Ramucirumab(サイラムザ®)
	→ 2017年 Pembrolizumab(キイトルーダ®)
	→ 2018年 Atezolizumab(テセントリク®)
	Durvalumab(イミフィレンザ®)
	Lorlatinib(ロープレナ®)
	Dabrafenib(タフィナラー®) + Trametinib(メキニスト®)
	→ 2019年 Dacomitinib(ビジンプラ®)

多彩な症状が出現する。副作用は免疫関連有害事象（immune-related Adverse Event：irAE）と



もいわれる。免疫チェックポイント阻害剤は免疫応答を制御するTリンパ球に作用して、腫瘍細胞に対する免疫応答を再活性化することで抗腫瘍効果を示すが、irAEは自己反応性Tリンパ球が自己の組織を攻撃し過剰な自己免疫作用によるものと考えられている。

Event

■ 第100回病診連携勉強会

日 時：令和元年12月17日（火）14：00～

会 場：名古屋セントラル病院 2階 多目的ホール

講 師：耳鼻いんこう科 科長 山本 浩志

テーマ：睡眠障害に対する当科の取組み

共 催：中村区医師会

日本医師会生涯教育講座 カリキュラムコード：20（不眠）

ぜひご参加ください。

■ 第101回病診連携勉強会

令和2年2月22日（土）名古屋マリオットアソシアホテルにおいて、第101回病診連携勉強会と意見交換会を開催します。詳細は後日、別途ご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

年末年始の外来休診のお知らせ

12月31日（火）～1月5日（日）は外来診療を休診いたします。

新年は1月6日（月）より平常通り診療いたします。

なお、業務の都合により各科の診療が変更となる場合もございますので
予めご了承ください。



■ 病院理念

- 1 安全で質が高く、快適でまごころのこもった患者本位の医療
- 2 健全な病院経営による地域社会への貢献
- 3 協力、責任感、積極性にあふれた活力ある病院づくり

■ ビジョン

- 1 地域の中核病院として、常に先進的で専門的、良質で効率的な急性期医療を提供する
- 2 医学的根拠に基づく医療を確実に実践し、部門や職種を超えた安心で信頼感のあるチーム医療を提供する
- 3 充実した救急医療と予防医療を提供する
- 4 地域の医療機関と綿密に連携し、受診される皆さまに最適な医療環境を提供する
- 5 各々が医の倫理を徹底し、日々研鑽するとともに医療人の育成に努め、信頼され選ばれる病院をつくる

編集：名古屋セントラル病院 地域・法人連携室

〒453-0801 名古屋市中村区太閤三丁目7番7号 TEL:052-452-3165（代表） FAX:052-452-3182

E-mail:hospital@jr-central.co.jp URL:http://nagoya-central-hospital.com